



前回までのあらすじ



いろはの  
色巴への  
欲望が止まらない心人



受け入れてくれる  
色巴のことを  
どんどん好きになる

だが告白する前に  
身体の関係に  
なってしまったことが  
気がかりで――

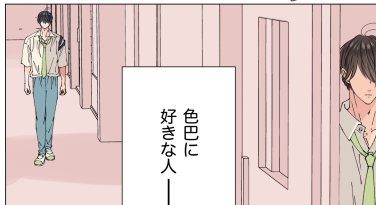


えっ!?

天然鈍感なイケメンが  
アナニーしてる現場に  
遭遇したら…

色巴…!?

ごめん  
俺  
好きな人がいるんだ



そんなことも  
知らずに俺は



心人と  
したいんだよ

彼に身体の関係を  
求めてしまっ  
ていたんだ――

もう色巴には  
絶対に手を出さない

俺は  
彼が幸せなら  
それでいい――

2週間後

『俺  
好きな人がいるんだ』



あの時  
真っ先に  
頭に浮かんだのは  
心人の顔だった！



俺は  
心人のことが  
好きなんだ——













心人のっ…

心人のちんぽ  
ほしい…♡

『さや、んっさや田…』

♡  
ちんぽ  
♡

♡  
ちんぽ  
♡

♡  
ちんぽ  
♡

♡  
ちんぽ  
♡

♡  
ちんぽ  
♡



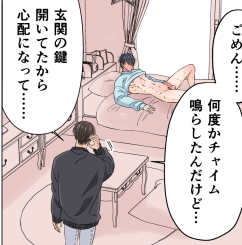




ごめん……

何度かチャイム  
鳴らしたんだけど……

玄関の鍵  
開いてたから  
心配になって……



部屋の外まで  
色巴の声  
聞こえてたよ……



僕の名前を  
呼ぶ声……





僕なの？




色巴の  
好きな人って



2週間も  
我慢するんじゃ  
なかった……



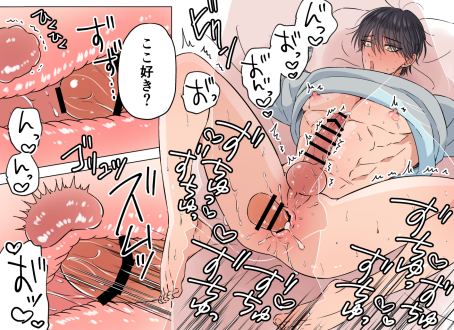




やっぱり色巴のこと  
諦められない

2人で  
幸せになりたい

ん











これからもいっぱい  
エッチしようね

色巴

END